



UTO から世界へ！ 第19号

久々登場 緒方先生(国語科) オーストラリア留学記～大学生編～

私を含め5人の学生がALTとしてボランティアに行ったのは、首都キャンベラです。私の担当の学校は「Harrison School」という幼稚園から小学生までが学ぶ、2008年に開校した新しい学校でした。校歌には一部、日本語の歌詞が入っており、「ハリソンへようこそ、ようこそみなさん」というフレーズをオーストラリアの子どもたちが歌っているのを聴き、感動したのを覚えています。オーストラリアは移民が多い国で、様々な人種の子どもたちがその学校で学んでいました。私はその学校に通う子どもたちの家族、合計6家族と一緒に生活をしました。さすが国の中枢機関が集まる首都、6家族中5家族がオーストラリア国防軍の家族でした。(陸・海・空、全部制覇!) ALTとして子どもたちに日本語を教えたり、ホストファミリーと日々過ごしたり、毎日毎日英語を話す日々でした。シドニーやメルボルン、ブリズベンに一人で旅行にも行きました。見るもの、聞くもの、すべてが新鮮で刺激的でした。シドニーでは高校の研修で訪れた場所も巡り、高校のときの夢が叶えられた喜びをかみしめました。(次号に続く)



「仮装の日」の様子。テーマは「絵本の世界」。子どもたちが色々なキャラクターをイメージした格好をしています。



私の誕生日会。当時滞在していたホストファミリー以外のファミリーもかけつけてくれました。



メルボルンはオーストラリア第二の都市ですが、歴史的建造物や自然も多く、非常に美しい街でした。

緒方先生、念願のオーストラリアでお仕事。その勇気に感動します。オーストラリアでの思い出は緒方先生にとって今でも宝物ではないでしょうか。あっという間に夏が終わりましたが、皆さんの夏休みはいかがでしたか。『創造・挑戦・感動』の経験ができましたか。9月2日の始業式では、世界各地で行われたグローバル研修に参加した宇土高生からの報告があります。お楽しみに! いつも元気な緒方先生に負けず、2学期も学校生活を楽しみましょう!

創造・挑戦・感動の夏に!

主幹教諭 梶原

